



**伝統的な天皇帝の終焉に直結**  
櫻井よしこさん ジャーナリスト

女系天皇の容認は、天皇制を支えてきた血筋の純粋性を重視する価値観を真つ向から否定し、古来からの天皇制に訣別することの意味する。女系天皇容認は天皇制の維持ではなく、伝統的な天皇制の終焉に直結するものである。このような大変化を、国民に十分な議論も許さずに一方的に押し付けるとしたら、有識者会議は第一のGHQであり、彼らの結論は日本文明を全体的死に導く最後の一撃だと言わざるを得ない。



**安易な女系天皇は間違い**  
工藤美代子さん ノンフィクション作家

私はいま、貞明皇后の伝記を書いているのですが、その中で非常に納得したのは、天皇は天皇のお役目をきちんと果たされ、皇后は皇后で、やはりそのお役目を見事に果たされていたという、皇室の歴史でした。これこそが、真の意味での「男女同権」ではないでしょうか。いくら「男女同権」が正しいといえ、安易な視点から女性・女系天皇に結び付けて考えることは間違いだ、まずは知ってほしいです。



**これは成文憲法以前の問題だ**  
三好達さん 日本会議会長・元最高裁判官

男系による万世二系の皇位継承の在り方を変えることは、一片の法律のみを

もつてなし得るものである。有史以来の継承の在り方を変えることは、我が国の国柄の連続性を断ち切ることにほかならないからである。その意味では、これは成文憲法以前の問題といつてもよいのではないかと、たびたび男系を断ち切れれば、これまでの継承の在り方は、永久に断ち切られてしまうのである。傍観者であつてはならぬ。思慮深く健全な世論を形成しよう。



**重い使命感に基づく万世二系**  
中西輝政さん 京都大学教授

日本の皇室の「万世二系」という独特の表現は、文字通り掛け値なしにそれが実践されてきたことを示している。なぜそこまで厳密にこだわったのか。それは、その万世二系の系譜が神武天皇、ひいては天孫降臨のニギノミコト、天照大御神といつように神話の神々につながるからです。つまり万世二系の系譜のご自覚が即、神のご子孫、即ち神の末裔であられるのご自覚につながっているのです。万世二系とはそのような重い使命感に支えられていたのです。



**男系維持で保たれた国家の品格**  
藤原正彦さん お茶の水女子大学教授

男系をつなぐといつことは、綱渡りであることは承知の上のことです。だから非嫡出子まで認め、あるいは傍系を辿つてこないできた。そこまでして万世二系にこだわってきたからこそ、天皇の正統性が保たれ、世界唯一の皇帝として世界か



**国民統合の役割果たす男系継承**  
大原康男さん 国学院大学教授

二千年以上も天皇が国民統合の中心としての役割を果たしてこられたのは、皇位が男系主義で継承されてきたという認識が共有されてきたことを背景にしている。それは日本国憲法の下でも変わりない。もちろんこの原則の維持には常に困難さを伴うが、かつての我々の父祖たちがその都度叡智を傾けて難事を克服してきた輝かしい歴史を顧みれば、今回の危機も必ずや打開の途が開かれるであろうと信じたい。



**女系天皇への疑念は尽きない**  
百地章さん 日本大学教授

女性・女系天皇を認め、長子優先とした場合、例えば愛子さまのお相手がお相手から選ばれ、そのお子さまがやはり内親王で、お相手が徳川家から選ばれるといったこともありうる。そうなれば、父が徳川、祖父が藤原の流れをくむ天皇の誕生となるが、それでも皇統の二系性や正統性は担保されるのか。皇室と国民の区別が曖昧となりはしないか。また、皇族のお妃探しさえ大変なのに、女帝のお相手となる男性が本當に得られるのか。逆に皇室を利用しようとする野心家が現れたとき、危険は回避できるのか。疑問・不安は尽きない。

# 拙速な女系天皇導入は、二千年以上 続いてきた皇室伝統の破壊である。 今こそ万世二系の意義を知るべきだ。

## 各界識者の声

出典・櫻井よしこさん、工藤さん、Voice「月号」、大原さん、日本の論点、百地さん産経新聞  
それ以外は、日本の息吹「二月号」